

特別企画：四国地区タクシー業者 201 社の経営実態調査

総収入高は 2 年連続で微増

～2015 年「愛媛」「高知」は増加、「香川」「徳島」は減少～

はじめに

ここ数年でタクシー業界を取り巻く環境が変化している。2002 年の道路運送法改正でタクシー事業者の参入規制が免許制から許可制に緩和され、タクシー業界に新規参入が増加した。リーマン・ショック以降、輸送人員が減少するなか、一定の地域ではタクシー車両の大幅増加で経営環境が悪化。運転手の賃金低下や安全性が問題視され、車両数を規制する動きとなった。これを受けて 2009 年にタクシー特別措置法が制定され、特定地域では減車に向けた話し合いが進んでいる。

2020 年の東京五輪開催に伴うインバウンド需要など多様化したニーズに対応すべく、タクシー業界はタクシー・ハイヤーの「配車アプリ」や、スマートフォンを活用した「Uber（ウーバー）」などの配車サービスを開始するなど、IT 化の波が訪れている。今後はこうした IT 化に加えて、一般ドライバーがマイカーを利用し有料で客を送迎する「ライドシェア」の流入で、業者間の競合が激化する可能性がある。

帝国データバンク高松支店では、2016 年 4 月時点の企業概要データベース「COSMOS 2」（146 万社収録）の中から、2015 年（2015 年 1～12 月期）決算の年収入高が判明した四国 4 県に本店を置くタクシー業者 201 社を抽出し、総収入高や収入高推移、業歴、従業員規模について分析した。

調査結果(要旨)

1. 総収入高は 2013 年まで 2 年連続で減少が続いていたが、その後は 2 年連続で微増
2. 2015 年の 増収減状況は「増収」（構成比 20.4%）が「減収」（19.8%）を上回る
「香川県」だけが「減収」が「増収」を上回る
3. 業歴別では「50～100 年未満」が（構成比 58.0%）で最多。30 年以上の業歴を持つ企業が 87.0%を占める
4. 従業員数別では「10～100 人未満」が（構成比 68.2%）でトップ。98.1%が従業員 100 人未満

1. 総収入高 2年連続で微増

四国4県に本店を置くタクシー業者の内、5年連続で売上高が判明している140社の総収入高の推移をみると、2011年の総収入高は178億9700万円であったが、その後は2年連続で減少し、2013年には174億3700万円までダウンしていた。しかし、2014年は175億9000万円と僅かではあるが増加に転じた。2015年も176億3400万円と2年連続で微増となったが、2011年の総収入高を超えるには至らなかった。

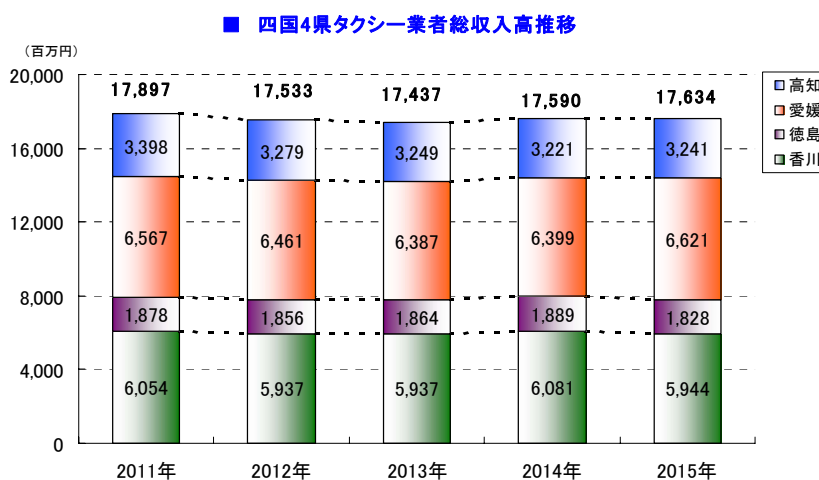
県別の推移は、「愛媛県」は「四国」と同じく、2013年まで2年連続で減少したが、2014年、2015年と2年連続で増加した。ただ、「四国」と違い2015年の総収入高が2011年を上回っている。

他の3県の総収入高は「四国」とは異なる推移となった。

「高知県」は、2014年まで3年連続でダウンしていたが、2015年に増加に転じている。

「徳島県」は、2012年は減少したものの、2013年に増加に転じ2014年も増加したが、2015年は減少している。

「香川県」は、「四国」と同じく2013年まで2年連続で減少し2014年に増加に転じたが、2015年は減少した。



2. 増減収 「増収」が20.4%、「減収」を上回る

2年連続で売上高が判明している167社の個別の収入高の増減をみると、「横ばい」が最も多く100社・構成比59.9%となった。「増収」は20.4% (34社) で、「減収」の19.8% (33社) を0.6ポイント上回った。

全国と比べると、「横ばい」の構成比が全国 (全国の構成比51.8%) を8.1ポイント、「減収」も全国 (全国の構成比同18.9%) を0.9ポイント上回ったが、「増収」は全国 (全国の構成比29.3%) を8.9ポイント下回った。

県別でみると、最も「増収」の構成比が高かったのは「徳島県」の25.0%。次いで「愛媛県」(24.5%)が高かった。「高知県」は、「横ばい」が72.2%と7割以上が「横ばい」となっていた。「香川県」は、4県のうち「増収」の構成比が最も低く、「減収」の構成比が最も高くなっており、唯一「減収」が「増収」を上回った。

■ 四国のタクシー業者増収減収状況 (単位:社、%)

	増収		減収		横ばい		合計
	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	
全国	850	29.3	550	18.9	1,504	51.8	2,904
四国	34	20.4	33	19.8	100	59.9	167
高知	10	18.5	5	9.3	39	72.2	54
愛媛	12	24.5	10	20.4	27	55.1	49
徳島	5	25.0	4	20.0	11	55.0	20
香川	7	15.9	14	31.8	23	52.3	44

3. 業歴別 「50～100年未満」が最多、業歴30年以上が8割を超える

四国4県のタクシー業者201社の内、業歴が判明した200社をみると、最も多かったのは「50～100年未満」が116社（構成比58.0%）となり、次いで「30～50年未満」が57社（同28.5%）と多く、87.0%の企業が30年以上の業歴を有していた。

全国と比べると、「50～100年未満」（全国の構成比64.5%）が最も多かったのは同じだが、「四国」の方が6.5ポイント下回っていた。「30～50年未満」（全国の構成比19.3%）が次いで多かったのも同じであったが、こちらは「四国」が9.2ポイント上回っていた。

県別では、4県とも「50～100年未満」が最も多く、「30～50年未満」が次いで多かったのは同じであった。

「香川県」は、業歴30年以上の構成比が91.8%と4県で唯一90%を超えていた。

一方、「徳島県」は、業歴30年以上の構成比が72.8%と唯一8割を下回っていた。

■ 四国のタクシー業者 業歴別社数

（単位：社、%）

	10年未満		10～30年未満		30～50年未満		50～100年未満		100年以上		合計 社数
	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	
全国	198	5.9	346	10.3	651	19.3	2174	64.5	4	0.1	3373
四国	13	6.5	13	6.5	57	28.5	116	58.0	1	0.5	200
高知	2	3.0	5	7.6	26	39.4	33	50.0	0	0.0	66
愛媛	5	7.9	5	7.9	12	19.0	41	65.1	0	0.0	63
徳島	5	22.7	1	4.5	6	27.3	10	45.5	0	0.0	22
香川	1	2.0	2	4.1	13	26.5	32	65.3	1	2.0	49

4. 従業員規模別 中小・零細企業が殆どを占める

四国4県のタクシー業者の従業員数をみると、「10～100人未満」が137社で構成比は68.2%となった。次いで「1～10人未満」が55社（同27.4%）と多かった。従業員100人未満の企業が全体の98.1%を占めていた。

全国と比べると、「10～100人未満」（全国の構成比60.8%）が最も多いのは同じで、四国の構成比が7.4ポイント上回っていた。ただ、全国では次に多かった「100～1000人未満」（全国の構成比21.8%）は、「四国」では2.0%と19.8ポイントも下回っていた。

県別でみると、100人未満の業者が殆どを占めていることには違いがない。

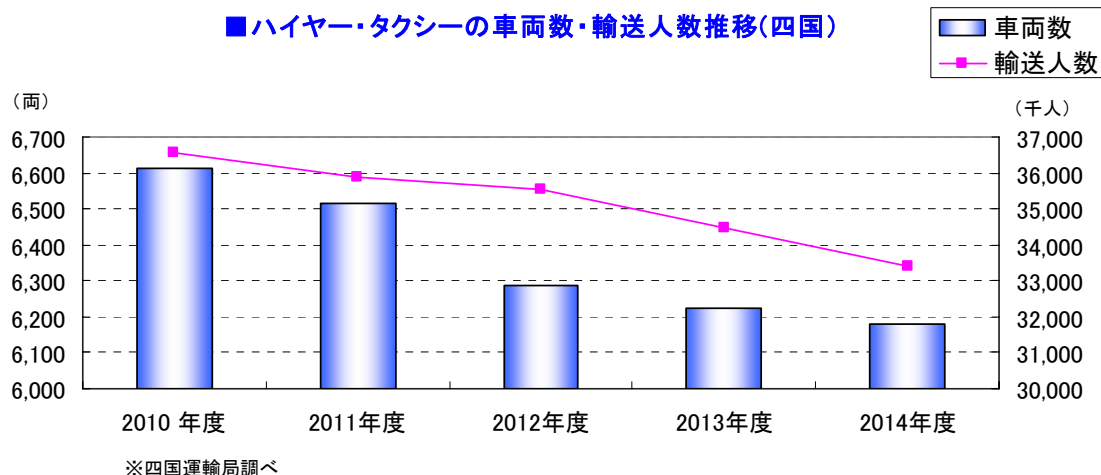
ただ、そのなかでも「高知県」は「1～10人未満」の構成比が43.3%となっており、他の3県と比べてより小規模な業者が多数営業している。

■ 四国のタクシー業者 従業員別社数

（単位：社、%）

	ゼロ		1～10人未満		10～100人未満		100～1000人未満		1000人以上		合計 社数
	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	社数	構成比	
全国	92	2.7	485	14.4	2051	60.8	737	21.8	11	0.3	3376
四国	5	2.5	55	27.4	137	68.2	4	2.0	0	0.0	201
高知	1	1.5	29	43.3	37	55.2	0	0.0	0	0.0	67
愛媛	2	3.2	11	17.5	48	76.2	2	3.2	0	0.0	63
徳島	1	4.5	5	22.7	15	68.2	1	4.5	0	0.0	22
香川	1	2.0	10	20.4	37	75.5	1	2.0	0	0.0	49

(参考)



5. まとめ

四国4県に本店を置くタクシー業者をみてみると、全国と同様に業歴は長いですが、事業規模では、小規模な業者の割合が全国より高いことがわかった。

また、総収入高は2年連続で僅かながら増収となっているが、4県のなかでも差があり、「愛媛県」「高知県」は2015年の総収入高は前年より増加していたが、「香川県」「徳島県」は減少していた。また、個別企業の増減収状況をみると、四国4県のなかでは「香川県」に収入高の維持に苦心する企業が多いことが分かった。

全国ではIT化や「ライドシェア」の流入がタクシー業者の経営環境に大きな影響を与えているが、四国は全国的にみても人手不足が深刻なため、他の地域以上に運転手の確保が容易でないという問題がある。運転手不足から車両の稼働率が上がらない業者にとっては、収入高を増やすことは容易なことではないだろう。

【内容に関する問い合わせ先】(株) 帝国データバンク 高松支店 担当：伊藤

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。